

2009/03/23

KDDI株式会社  
トヨタ自動車株式会社  
株式会社ナビタイムジャパン

## KDDI、トヨタ、ナビタイムジャパン、 携帯電話で検索した位置情報とカーナビゲーション間の 情報連携プラットフォームを開発

—最新の施設情報をカーナビゲーションに送信し、目的地として設定—

KDDI株式会社(以下、KDDI、本社:東京都千代田区、社長兼会長:小野寺 正)、トヨタ自動車株式会社(以下、トヨタ、本社:愛知県豊田市、社長:渡辺 捷昭)、株式会社ナビタイムジャパン(以下、ナビタイムジャパン、本社:東京都港区、社長:大西 啓介)は、携帯電話で検索した位置情報をBluetooth®通信によりカーナビゲーションに転送し、携帯電話とカーナビゲーションをシームレスにご利用いただくためのプラットフォームを開発しました。

これにより、携帯電話であらかじめ検索した最新のドライブスポットの情報を、車に乗り込んでカーナビゲーションに転送するだけで簡単に目的地として設定でき、最適なルート案内でドライブを楽しむことが可能となります。

本プラットフォームは、汎用性を高めるために、携帯電話からカーナビゲーションへの通信技術として広く搭載されているBluetooth®のOPPプロファイル(注1)を採用するとともに、位置情報を表示するファイル形式として国際標準規格であるKML形式(注2)を採用しました。また、転送される位置情報を保有する情報提供者の権利を保護するために、携帯電話から送信可能なカーナビゲーション機種を限定する認証機能を搭載しています。

上記のオープンなプラットフォームの提供により、今後、3社は、本プラットフォームがより広く利用されていくことを期待しています。

開発にあたっては、KDDIとナビタイムジャパンが、携帯電話から位置情報をBluetooth®通信により送信するシステムを共同で開発しました。トヨタは、Bluetooth®で情報を受信し、目的地として設定・ルート案内するカーナビゲーション機能の開発を担当しました。

本プラットフォームを活用し、3社は、au携帯電話の歩行者向けナビゲーションサービス「EZナビウォーク」等で検索した情報をトヨタ純正カーナビゲーションに転送するサービスの提供を検討しており、2009年上期の導入を予定しています。

※Bluetooth®は、Bluetooth SIG,Inc.USAの登録商標

(注1) OPP(Object Push Profile):携帯電話やPCの間でデータ交換などを行うためのBluetooth®の基本的なプロファイル

(注2) KML(Keyhole Markup Language):ポイントや線など地理的特徴を記述するXMLファイル形式の一つ

### <別紙>利用イメージ

